

# 平成28年度長野県農業大学校評議委員会ご意見・ご提言

長野県農業大学校

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
教育活動	学習指導	総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今の若い人には、「頑張る」とか、「根気よくやる」、ということが通じない。また、あこがれやロマンで農業を目指す者はつぶれることが多い。これらを踏まえ、心の指導、人間力の指導が必要である。</li> <li>○実践経営者コースと農業経営コースとがお互い刺激し合い、相乗効果により農業経営コースの志願倍率や就農率が向上しているのであれば、そのことを認識し、学校を運営することが重要である。</li> <li>○農業高校や農業大学校においても、農業を産業として維持することの大切さ、地域の産業を支えることの重要性を教えて欲しい。</li> <li>○県外出身の学生が長野県で就農する流れが出てきているなら、優秀な人材は県外から引っ張ってくるという方向性で良い。</li> </ul>
		授業実習内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カリキュラムの中で、学生が目指す農家や農業分野からの話し、現地視察をもう少し増やして欲しい。</li> <li>○「農業経営とは何か」、「どうあるべきか」、ということをお教えて欲しい。</li> </ul>
		実践経営者コース運営の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高いレベルへ挑戦する意欲や技術力、持久力を持った人材、及び、実践経営者コースが求める人材を育成するためには、何を、どうすればそれらが身につくのか、教える内容をどうすればよいのか、検討されたい。</li> <li>○応募者確保のために、本年度からメディアを積極的に活用されており、今後の効果に期待する。</li> <li>○魅力ある情報の発信に関し、就農して2年が経過する1期生が農業の現場でチャレンジし続けている姿を発信することも必要である。</li> </ul>
	進路指導	個々に適した進路選択・実現と円滑な就農の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業大学校で実施していることを農業高校の教員に理解してもらい、その上で、就農への希望を強く持っている子の夢が繋がっていくよう、農業高校と農業大学校との一層の連携が必要である。</li> <li>○就農支援プログラムが機能し始めていると感じる。改革に着手して3年経過するが、就農への支援ノウハウを蓄積し、しっかりやっていって欲しい。</li> </ul>